

## クラブの活躍

ハンドマッサージサークル代表 西野幸那

コロナの影響により、昨年度活動が一度もできませんでした。私たち2年生も初めてのサークル活動を行いました。ハンドマッサージの手技確認のほか、外部講師の方に認知症サポーター講座を開いていただき、講演会をしていただきました。サークル活動を行うことにより、他学年との交流も図ることができ、1回、1回の活動がとても楽しいと感じています！！  
今後も感染対策を徹底してサークル活動を行なって行きたいです。



## 入試相談会を実施しました！



9月25日(土)入試相談会を開催しました。定員を設けた事前予約制で、参加者は受験を控える高校3年生・既卒者に限定し、感染症対策を徹底して実施しました。

当日は入試広報室から入試概要やインターネット出願についての説明、2022年度入試の傾向と対策講座をおこないました。また、先輩と話せる個別相談コーナーは多くの参加者でにぎわい、協力していただいた先輩たちは一生懸命質問に答えてくれていました。参加者は直接お話しすることで本学への理解も深まり、受験に対する不安や疑問を解消されたことと思います。来年の春に新しい仲間を迎えられることを学生・教職員一同、楽しみにしています。

## 今後の入試スケジュール

入試区分	出願期間(締切消印有効)	試験日	合格発表
一般選抜	前期日程	2022年 2月1日(火) 2022年 2月2日(水)	2022年 2月14日(月)
育成会 奨学生選抜	後期日程 (看護学科のみ)	2022年 2月1日(火)	
大学入学共通テスト 利用選抜	前期日程	2022年 1月4日(火)～ 1月27日(木)	2022年 3月6日(日) 3月16日(水)
一般選抜プラス共通テスト	2022年 1月4日(火)～ 1月25日(火)	本学による独自試験は課さない	
一般選抜	後期日程	2022年 2月15日(火)～ 2月28日(月)	2022年 3月16日(水)
大学入学共通テスト 利用選抜	後期日程	2022年 2月15日(火)～ 3月2日(水)	

# オレンジの風

四日市看護医療大学  
教学課  
News

Vol.54

2021.12.16

Yokkaichi Nursing and Medical Care University

## 教育後援会主催の保護者懇談会を開催

教育後援会事務局

**10**月2日(土)教育後援会主催の保護者懇談会を開催いたしました。保護者の皆様から93名の方に参加していただきました。この場を借りて教職員一同、深く御礼申し上げます。

当日は感染状況を鑑み、全体会は中止とし、参加者様には事前に時間を指定しておいでいただく個別面談のみの実施となりました。受付にて学長メッセージを同封した資料をお渡ししたのち、面談会場にてアドバイザー担当教員等との個別面談を実施致しました。1組15分程度ではありましたが、多くの皆様からご子弟の学生生活の状況等を知っていただく良い機会になったとの感想をいただきました。

面談後のアンケートでは、多様な授業形態の中での学習

状況、実習ができないための不安等、多くのご意見を頂戴いたしました。お預かりしたご意見は集約し、すみやかに学生支援等に反映ができるよう、教職員一同より一層精進してまいりたいと思っております。引き続きご支援等よろしくお願ひ申し上げます。



## とこわか国体・とこわか大会横断幕 ～ご協力ありがとうございました！～

**令**和3年9月25日～10月25日に予定されておりました、「とこわか国体・とこわか大会」にむけて本学では学生や教職員で横断幕を作製しました。学生の中からは久しぶりに絵筆やペンで絵を描くという声もありましたが、楽しんで作業している様子でした。それぞれが異なる県や市の横断幕を担当し、可愛らしいものや力強いものなど、各県の特徴を捉えた素敵な作品が出来上がりました。大会は残念ながら中止になってしまいましたが、これら横断幕は出場予定だった選手の皆さんに寄贈されるそうです。横断幕が学生にとっても選手の皆さんにとっても、記念になっているのではと感じています。



## 清掃ボランティアに参加で地域に貢献！

**11**月1日(月)看護学科1年生と3年生の希望者が、中村組様主催の周辺地域清掃ボランティアに参加いたしました。地域の自治会連合や三岐鉄道など、総勢121名が参加し、収集したごみの量はなんと70kg！参加した学生は、「地域の方々と交流できたよい機会だった」「イベント自体が久しぶりで楽しかった」と、楽しかった様子でした。また、「優しい先輩と話



せてよかった」「先輩に色々教えてあげることができた」など、先輩後輩が直接交流できた機会でもあったようです。

## 四日市看護医療大学2021年度(2022年3月)卒業生

### 国家試験・就職関係

**看** 護学科令和4年3月卒業予定者の就職内定状況は、コロナ禍において、就職説明会等含めて遠隔対応である病院・施設もありましたが、12月1日現在で9割以上の学生からの報告を集約できました。

本学学生は、キャリア支援委員の先生のご指導もあり、早期に自己分析・病院研究、履歴書や面接などの対策等を行い採用試験にむけ、しっかりと準備・対策を行った結果と思います。

これから大学内で現3年生を対象とした就職対策ガイダンス(12月、3月、4月)を実施します。このほか、業者主催の就職セミナーや、病院見学会・インターンシップが多く開催されます。しっかりと情報収集を行い、就職への意識を高めるための大切な時期です。積極的に参加してください。

#### 【内訳:12月1日現在】

【地域別】 三重県62.3%、愛知県29.2%、岐阜、静岡、東京、大阪、京都、長野の病院等に就職が内定しています。看護師をはじめ、保健師または助産師として採用が予定されています。

\*参考資料 令和2年度就職進路状況

- ・就職率100% (三重県66.3%、愛知県26.3%、静岡・岐阜・東京・大阪等)
- ・国家試験合格率(看護師98.2%、保健師100%、助産師100%)

### 就職内定者 喜びの声・続々と!



#### 看護師(市立四日市病院内定/和田悠加さん)

私は地域に貢献したい思いから地元の病院に就職したいと考え、育成会奨学生として入学しました。この病院を志望した理由は、急性期の看護に興味があることや、説明会に参加して、自分の目指す看護師像に合っていることや教育体制が充実していたからです。

就職活動中は不安な気持ちで一杯でしたが、就職試験に向けて先生方の手厚いサポートにより、十分に履歴書や面接、小論文の対策をすることができたので、当日は落ち着いて臨むことができました。

事前にしっかり準備をした分だけ当日も安心して臨めると思います。皆さんも夢に向かって頑張ってください。



#### 助産師(名古屋第一病院内定/松永妃那子さん)

私がこの病院を選んだ理由は、産科関連の部署をローテーションしながら学べる環境があるからです。また院内助産がありハイリスク・ローリスクどちらも経験できるからです。複数の病院説明会やインターンシップに参加することで、病院の雰囲気や他とは違う特徴を知ることができ、病院選びに役立ちました。

統合実習、研究演習、助産演習も重なり大変でしたが、先生方の手厚いサポートや一緒に頑張ってくれた友達のおかげで乗り越えることができました。これから就職活動する方も1人で抱え込まず周りの力も借りながら頑張ってください。応援しています。



#### 保健師(三重県内定/川邊涼夏さん)

私はサークル活動やボランティア活動を通して三重県内の多くの方々と出会いました。その方々から生活上の喜びや困りごと、看護職に求めることなどを学びました。出会った皆様は初対面の私を温かく迎えてくださったことを覚えています。お世話になった県民の皆様の健康を保健師として支えることで恩返しをしたいと考え、三重県の保健師を志望しました。私は緊張しがちなため面接試験に大きな不安を抱えていましたが、先生方や友人と何度も練習を重ね自信をつけることができました。

感染症の流行によりインターンシップや臨地実習に行くことができないことなど、就職活動をするにあたり多くの不安があると思いますが、先生方はとても親身に相談に乗ってください。また、私も力になりたいと思うので学内で見かけたら気軽に声をかけてください。

## 看護学科実習レポート

新型コロナウイルス感染拡大防止のため通常は病院や各施設で学習する臨地実習を行えない状況の中、学内での看護実践や事例検討などの代替実習を行いました。現在は実習可能な施設から臨地実習を再開しています。



【実習名】地域看護学実習Ⅰ・Ⅱ  
【開催年次】4年次後期

#### 「地域看護学実習」を終えて 4年 蜜澤亜紗さん



昨年に引き続き、今年も特殊な環境下での実習となりましたが、保健所や企業での実習では対象者に応じた保健活動や看護職者の役割など、多くの学びを得ることができました。特に保健師としては、健康に無関心な対象者への支援や行動変容の促しの難しさを改めて実感し、日々の関わりの中で信頼関係が構築できる関係づくりが重要だと学びました。

来年度から行政保健師として従事するにあたり、実習で学んだ知識と経験を活かし、日々努力していきたいです。

【実習名】領域別看護学実習  
【開催年次】3年次後期 【実習中】

#### 「領域別看護学実習」を経験して 3年 柳田涼花さん



この新型コロナウイルス禍のことが限られた状況で、実際に病院に行き、オンラインの実習では感じるこのできない患者さんの日々の変化を感じることができました。入学してから病院内で実習することは初めてで、病院の仕組みや雰囲気などもわかっていないままの実習であったため、とても不安でした。しかし、指導者さんや担当の先生からアドバイスを毎日していただいたこと、予習復習フィードバックをしたことで、授業では学ぶことのできない深いところまで学ぶことができました。この領域別実習で学んだことを活かし、今後の実習に取り組んでいきたいと思っています。

【実習名】基礎看護学実習Ⅰ  
【開催年次】2年次後期

#### 「基礎看護学実習」を終えて 2年 松本千波さん



私達の初めての实習はCOVID-19の影響からオンライン実習になりました。『実習=臨地の技術を学ぶ場』と考えていた為、学びに対し不安を抱いていましたが、今回の実習は看護計画を立案する際の土台となるアセスメントについて教員方から学生個々に指導をして頂ける貴重な機会となり、以前と比較すると自身でも変化が感じられるほど、具体性を持った考えが出来るようになりました。異例の社会状況ゆえに通常通りの学びを進められないこともありますが、この状況下だからこそ強化していただける学びもあるということをもっと感じました。

## 臨床検査学科実習の様子

臨床検査の基礎・技術を学ぶ学内実習が始まりました。「接遇」もしっかり学び実践していました。

